

外航オーナーズ協会 第 60 回定時総会について

外航オーナーズ協会は、平成 30 年 6 月 21 日に第 60 回定時総会を開催し、事業報告等を原案通り承認致しました。当日の有坂会長挨拶は以下の通りです。

外航オーナーズ協会 第 60 回定時総会における有坂会長挨拶

平成 30 年 6 月 21 日

第 60 回定時総会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

わが国経済は、米国をはじめ世界経済の着実な成長のもと、輸出や設備投資、インバウンドが牽引する個人消費などが堅調にあることから、引き続き緩やかな拡大基調が続くものと見られています。我々外航海運業界においては、歴史的低水準を記録したドライバルク市況も底値圏から脱し回復基調を維持しておりますが、依然として過剰船腹が解消されるまでには至っておらず、新造船供給圧力が残る厳しい事業環境が続いております。

このような状況下、当協会の会員各社が多種多様な顧客ニーズに応じて、良質かつきめ細やかなサービスを提供し世界の企業と伍していくためには、自助努力に加え、国際競争条件の均衡化、即ち、税制などのイコールフットィングの実現が必須であります。ご案内の通り、平成 30 年度税制改正では、29 年度末で期限切れとなる国際船舶に係る登録免許税および固定資産税の特例措置の延長が認められました。一方、30 年度末には、我々にとって必要不可欠な船舶の特別償却制度が期限を迎えます。当協会は会員各社の国際競争力確保のためにも、同制度の維持継続に向け、日本船主協会とともに取り組んでまいり所存です。

海賊問題につきましては、ソマリア沖・アデン湾海域における各国政府の対処活動や各船の自衛措置の効果により、事件件数は低水準で推移しているものの、2012 年以降はじめてとなるハイジャック事件が再発するなど、海賊の脅威は依然として大きい状況にあります。当協会としても船舶が安全に航行できるよう、わが国政府に対し、海賊対処活動の継続・強化を含むあらゆる対策を講じるよう求めてまいります。

加えて、GHG 排出削減・バラスト水管理・SOx 規制等の大気汚染防止対策など、環境問題につきましては、IMO をはじめ国内外の審議状況を注視し、迅速な情報の共有と展開に努めたいと思います。

当協会は今後も、世界の経済動向、海運市況の見通しなど関係する情報の収集と共有に努め、会員間の意見交換、親睦の場として活動してまいりたく存じますので、皆様の一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

以 上